

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ゆうきっずびあ2		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日 ～ 令和8年 2月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日 ～ 令和8年 2月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ゆうきっずびあ2では、子どもひとり一人に合わせた様々なプログラムを提供し、柔軟に対応できるようになっています。毎日の子どもの状態を学校や保護者から情報を集め、最適な支援を行えるよう努めています。	指導員が連携して子どもの様子を観察し、今日の支援方法を随時、報告・連絡・相談・見直しする事で、質の高いサポートを行っていきけるよう努力しています。	子ども一人ひとりの興味のある事・得意としている事など、「その子を知る・子どもの声に耳を傾ける」を大切に、また、流行を取り入れ子ども目線で充実させていきたいと思ひます。
2	毎日の連絡帳を通して、活動内容・活動の様子を分かりやすく伝え、活動に取り組んでいる様子の写真を添えお伝えしています。	活動内容は、文章で分かりやすく・頑張っている様子・素敵な笑顔は見逃さず写真を撮る事を心がけています。保護者様が、普段見ることのできない子どもの頑張っている様子を伝えたいと思っています。	連絡帳を通して子どもの様子を分かりやすく伝える努力はしつつ、しかし支援の質の向上の為、連絡帳のあり方を考えて行く必要はあると感じている。連絡帳と子どもと関わる時間のバランスを図ってまいります。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思ひます。また、子ども達の活動に合わせた空間となっています。	子ども達が過ごしやすいように、毎日の清掃を徹底して行っております。また、掲示物も季節の物に変更したり、整理整頓にも心がけています。	子ども達も、生活スキル（片付け）を取得する上で、もっと分かりやすく片付けやすく工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応・災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っておりまた、避難訓練も月1度（地震・津波・火災・不審者）でおこなってはいるが、実際の緊急事態が起こった際によりスムーズに対応できるように、全職員に周知と訓練を行って行くことが必要だと考えております。	マニュアルは情報量が多く、実際に対応する際に、スムーズではない可能性が考えられます。	手順を分かりやすく視覚化した上で、訓練が必要かと考えられます。
2	地域との交流機会が不足しています。	「地域活動する機会」を活動として提供されていない。保護者様のアンケートを見ると、交流を望まない・学校で取り組んでいるので放課後等デイサービスではやらなくても良いなどの意見も見られています。	保護者様の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
3	保護者同士の交流機会の少ないです。	保護者同士の交流機会がない。保護者様のアンケートを見ると交流はなくてもいい・事業所以外で交流している方もいるので望まないという意見も見られます。	保護者様の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

ゆうきっずびあ2

公表日

令和8年 3月 1 7 日

利用児童数

2 4名

回収数

2 4名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				特にうちの子は体が大きい方なので、もうちょっとホールが広いといいかなとも思います。	規程に基づき設計されています。 出来る範囲で環境を整え、できる範囲で構造化も考え工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			2	大変な仕事なので1対1じゃないといけない時もあると思うから。 人数で困った事はないです。	職員数は、国の指定基準に沿った配置になっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24				構造化はしっかりされています。	バリアフリー未実施です。 段差がある場所（玄関）は、色分けし視覚的に認知しやすいようになっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24				清潔で、整理整頓もしっかりされています。安心して通わせることができます。	今後も、掃除・消毒は徹底して行い、保護者様が安心して預けることができるように取り組んでいきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				ひとりひとりに合わせ丁寧・適切な対応が素晴らしいです。 いつも助かっています。	その日の子供の状態・また、特性を全職員が理解し、子どもに寄り添った支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24				毎日、楽しいプログラムで子どもが楽しみにしています。	モニタリング・面談を通してもっとわかりやすく、保護者様へ伝えていきたいと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				子どもにあった課題でたくさんの支援をしてもらっています。保護者の願いにも配慮され計画して頂けています。	これからも、「子どもの声に耳を傾け」を第一に、信頼関係を築き、その子を知る上で個別支援計画書を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24					個別支援計画は、「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するように作成しています。その中からお子さんの発達状況を踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					毎日のミーティングにて支援方法などを確認するようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		1	いつもいろんなプログラムを考えて下さっているので行くのが楽しみです。	固定化されないように、子ども達の意見を聞きながら、活動のプログラムを作成しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6	3	11	ないままOKです。	地域の他の子どもと活動する機会が持ていないのが現状です。今後の検討課題とさせていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				契約時に説明されています。	運営規程の内容を踏まえた重要事項説明書、契約書を使用し説明しています。支援プログラムは保護者様に配布しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					個別支援計画を提示しながら支援内容を説明しています。これからも具体的に個別支援計画の作成と説明に務めていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	2	6	家族も参加できる研修会があればぜひ参加したいです。研修会はありませんが、親子に寄り添って頂けているので満足しています。	ライフステージに応じた情報提供や講演会があると良いと思うので、今後検討していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24				細かいところまで子どもについて知ってもらうことができています。	今後も、連絡帳・送迎時・電話連絡などを通して毎日の子どもの様子を伝え、発達状況について理解を深め、共通理解を図る事を心がけていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24				モニタリング以外でもその都度困ったことがあるとき相談し助言を頂いています。	6か月に一度は面談を行っています。今後も連絡帳等などで保護者様との連絡を密にし、いつでも相談しやすい体制整備や周知に努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1			共感してもらい、アドバイスも頂いています。 そのおかげで子供が成長しています。	共感的な関わりの中で子ども達にも保護者の方にも安心して過ごしていただけるよう今後も努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	3	10	妹にも支援して頂きありがたいです。 妹もびあ2の先生方のことが大好きです。 兄弟で利用させて頂いています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24				子どもの相談へ困ったときのアドバイスも迅速に対応してくださっています。	今後も、ご相談やご要望には可能な限り迅速に対応していきたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				しっかり伝達されているので安心して通わせることができています。 ありがたい程よくしてくれています。	子どもの発達状況に応じて一人ひとりに合わせたコミュニケーション手段を随時検討し支援を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	2	1	4	用紙で頂いています。	定期的に必要に応じて、連絡帳やお手紙でお伝えしています。今後もより良い活用方法を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1				今後も個人情報の取り扱いについては十分に注意していきます。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			2		マニュアルを策定しているが、保護者様にも安心できるように周知徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24				しっかり避難訓練を定期的にされています。	毎月1回、地震・津波・火事・不審者を想定し訓練を順番に行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1			安全面もしっかりしています。	3列シートの送迎車には、置き去り安全装置を設置しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		1	しっかり説明されています。対応されています。すぐに連絡頂いています。	保護者様には、安心して預けることができるように速やかに連絡・対応を行います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24				子どもの特性を理解し、適切なプログラムを立ててきている。何かあった時の対応も安心してまかせられるし、何より子どもが楽しそうにしている。他の地域の方や子どもとのふれあいは必ずしも必要ではないと思う為、とても満足している。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1			連絡帳に毎日写真貼布されており、楽しさが伝わってきます。「びあ2楽しかった」と言っています。	今後もゆうきっずびあ2の運営と支援に満足して頂けるよう職員一同資質向上に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				エリア外にもかかわらず、長期休みなどできる範囲で送迎の対応をしてくれ助かります。十分に満足させていただき、家族みんなサポートしてもらい感謝しています。いつもありがとうございます。	全てにおいてしっかり支援されています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 3月 17日				
ゆうきっずびあ2						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		規程に基づき行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		規程に基づき行っています。課題は、職員と1対1で行うことができるように配置されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	学習スペース・運動スペースに分れている。玄関のみ低い段差になっている為、色分けし視覚的に認知しやすいようにしています。	クールダウンや音が苦手な児童に対しての個室が限られている。何室あがると、困り事の対処ができることが増えると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		職員が掃除分担表を作成し、毎日掃除・消毒を行っている。子ども達の活動に合わせた環境になっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		ひとりになりたい時の、スペースを確保している。音が気になる児童は、面談室で指導員と過ごす事もできます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		ミーティングで情報共有と今後の対策を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		面談などで得られた保護者様の意見をミーティングで伝え、話し合いを行い把握することで改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		自由に意見が言える環境・悩みを一人で抱えず相談できる環境であるように努力しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者による外部評価導入を検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内の研修・外部研修などに全職員が参加できるように計画されています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		関係機関・保護者様には支援プログラムをお渡ししています。	外部へ広く公表する方法を検討していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		毎日の様子は、ミーティングで共有し、全職員の情報を基にモニタリング表をまとめ、保護者に伝え、保護者の考えを基に作成しています。	アセスメントの見直しと修正は行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童の毎日の様子を、全職員で情報共有し、担当職員と児発管でモニタリングをまとめ、支援に繋げています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		常に、個別支援計画を基に日頃の支援ができるようにミーティングを通して確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		事業所で作成したアセスメントを用いて、保護者から聞き取りを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		目標の設定は、子どもの状況や保護者の要望、職員の意見を踏まえて作成している。また、支援計画を誰が見てもわかるように作成しています。	令和6年度から新しい様式になり、作成するにあたりまだまだ課題は残されています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		全職員で検討・分担し立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		主となる活動プログラムを設定し、利用者の状況に応じた活動プログラムを策定しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子ども状況を見ながら、個別活動・集団活動の内容を調節し支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日のミーティングを通して、送迎確認・体調確認・情緒面の確認を行い支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後ではなく、次の日の朝のミーティングで児童の様子・保護者からの連絡の情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		PCを活用したシステムを導入し職員は日々の支援を記録しています。利用者の成長過程や現状を把握し支援の検証・改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		必要に応じて（基本6か月に1回）モニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		①自立支援と日常生活の充実の為の活動 ②創作活動③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供を組み合わせ支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		「子どもが自己決定をする力」を育てるため、個々に合わせて選択できる支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校や相談支援事業所、医療（保護者からの情報）とは連携して支援を行う体制を整えている。	地域の保健、直接医療機関との連携は殆どない為、今後検討していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		主に保護者様を通して、学校の情報を共有しています。（やむを得ず学校へ直接聞く場合もある）	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	就学前の児童の情報については、保護者・相談支援事業所の相談専門員を通して情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	利用者本人に関する必要な情報は、相談支援事業所の相談支援専門員を中心に情報共有を図るよう努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6	個別支援において、アドバイザーの派遣を活用し助言を受けて支援に活かすようにしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	交流を望まない保護者もいます。	ご要望に応じて対応を考えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		今後参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時・連絡帳・電話・写真などでその日の様子・出来事をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	モニタリング・面談を通して個別に対応しています。	ペアレントとレーニングや、家族等の参加できる研修会などは行っていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご契約時に、全て説明し、支援プログラムは保護者様へお渡ししています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング時に保護者に確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		必ず、保護者に会い説明し、同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳や電話での相談はあります。相談内容は守秘義務を尊重したうえで管理者から指導員へ周知し対応しています。保護者様と信頼関係を大切に、些細なことでもご相談頂けるように努めています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		保護者様のご要望を確認し考えていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	お陰様で、契約されている児童の保護者様からの苦情はなく、今後も信頼関係を深め、苦情があった際は、迅速かつ適切に対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	送迎時や連絡帳（その日の様子を記載・写真掲載）を通して、事業所と保護者間で行っています。	定期的な通信等は発行していない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		新採用になった職員に対して、守秘義務についての教育は徹底して行っています。 ※ミーティングを通して定期的に伝えていきます。	今後も丁寧な対応に努めていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		事務連絡やご案内などはできるだけ口頭だけではなく書面でも通知するようにし、周知・理解しやすいよう配慮しています。	今後も丁寧な対応に努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	現時点では、地域住民との交流はできていません。	保護者からの要望を聞きながら、検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		月に1回避難訓練（地震・津波・火事・不審者）を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を策定し、毎月避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬・てんかんは契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食物アレルギー対応については、契約前面談に保護者に確認し、医師の指示書を基に提供できる食べ物を再度保護者に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定し、職員間で周知がなされている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが起きた場合、その都度記録を残し、ミーティングで話し合い注意喚起を徹底し再発防止に向けて全職員に周知する。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を設置し、年に2回研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		マニュアルを完備しているが、今現在身体拘束を必要とされる児童が利用されていない。